

安城市内景況調査結果 (2025年10月～12月)

＜回復実感はあるものの、先行き不透明＞

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 100企業

2. 調査対象時期 2025年10～12月期

(1)前年同期(2024年10～12月)と比べた今期の状況

(2)今期と比べた来期(2026年1～3月)の先行き見通し

3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	その他	計
企業数	20	25	26	20	9	100
構成比	20.0%	25.0%	26.0%	20.0%	9.0%	100%

前年同期比で業況判断DIがプラスに転じ、製造業を中心に景気回復の兆しが見られる。ただ、来期の見通しでは、多くの項目が再び悪化予想となり、回復実感はあるものの、先行き不透明感と慎重姿勢が強い状況がうかがえる。

	前年同期比 (前回)	前年同期比 (今回)	来期の 見通し
業況判断	△6.9	1.0	△20.0
売上高	△8.9	△5.0	△14.1
売上単価	△6.9	3.1	△9.1
資金繰り	△11.0	△8.2	△11.2
借入難度	△3.2	△6.5	△9.6
収益状況	△18.8	△6.1	△20.6
雇用人員	△12.1	△18.4	△12.2

凡例▶



		全産業											
		製造業		小売・卸業		建設業		サービス業		その他			
前年同期対比	業況判断	1.0		35.0		△28.0		△3.8		△5.0		33.3	
	売上高	△5.0		20.0		△36.0		△3.8		△5.0		22.2	
	売上単価	3.1		25.0		△12.0		△11.5		10.0		22.2	
	資金繰り	△8.2		△5.0		△16.0		3.8		△15.0		△11.1	
	借入難度	△6.5		△5.0		△4.0		△3.8		△15.0		0.0	
	収益状況	△6.1		20.0		△20.0		△15.4		△15.0		22.2	
	雇用人員	△18.4		△20.0		△4.0		△23.1		△15.0		△44.4	
来期の見通し	業況判断	△20.0		5.0		△24.0		△19.2		△45.0		△11.1	
	売上高	△14.1		10.0		△28.0		△11.5		△30.0		0.0	
	売上単価	△9.1		5.0		△20.0		△7.7		△20.0		11.1	
	資金繰り	△11.2		△5.0		△8.0		△34.6		△30.0		△11.1	
	借入難度	△9.6		△5.0		△4.0		△25.0		△25.0		0.0	
	収益状況	△20.6		10.0		△24.0		△30.0		△30.0		△11.1	
	雇用人員	△12.2		△20.0		△4.0		△15.0		△15.0		△11.1	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不变」60%、「減少」15%の場合のDIは、 $25 - 15 = 10$ となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧下さい。